



■～あかちゃん、こんにちは。超音波検査について～

# 赤ちゃん、こんにちは。

## ～超音波検査について～

超音波検査は長い妊娠期間の中で欠かすことのできない検査の1つです。また、姿の見えないお腹の中の赤ちゃんに、画面を通してリアルタイムに出会えるただ1つの検査ではないでしょうか。



当院では、赤ちゃんの大きさを計測したり、赤ちゃんの成長具合を確認するため、妊娠5ヶ月頃(16週頃)、8ヶ月頃(28週頃)、10ヶ月頃(36週頃)の3回程、超音波検査を受けていただいております。医師外来での超音波検査もありますが、検査室では計測以外に、赤ちゃんの動く様子や表情を、ママだけでなくパパや上のお子さんなど、ご家族皆で楽しみながら見ることに時間をかけています。

妊娠5ヶ月頃は赤ちゃん自体がまだ小さく、筋肉も薄いために、骨が強調された画像として映り、一見「宇宙人?」や「ウルトラマン?」のような顔に見えます。そして、自由気ままに動いている姿はほほえましく、神秘的でもあります。

妊娠8ヶ月頃になると、赤ちゃんのふっくらした頬や鼻や口唇が見られるようになります。指しゃぶりをするなど、赤ちゃんらしいしぐさや、愛くるしい動きもわかりやすくなってきます。初めて見る方にもこのころが一番見やすく、わかりやすいと思います。赤ちゃんが男の子か女の子か一番わかりやすい時期です。(当院では、22週以降から希望により赤ちゃんの性別をお教えしています。検査時に、担当者にお申し出ください。)

超音波の画像では、赤ちゃんの向きによりお顔が見えない時もありますが、ちょっぴり恥ずかしがり屋さんも多いようです。それでも、皆に見てもらえてきっと喜んでいることでしょう。そしてママには、画像の動きと胎動がリアルタイムに感じられ、「この動きは足なのね。」などと伝わると思います。ご兄弟のいらっしゃる場合には、お兄ちゃんやお姉ちゃんの自覚が芽生えてくるかも?かもしれませんね。



担当:放射線技師 木下 三千代